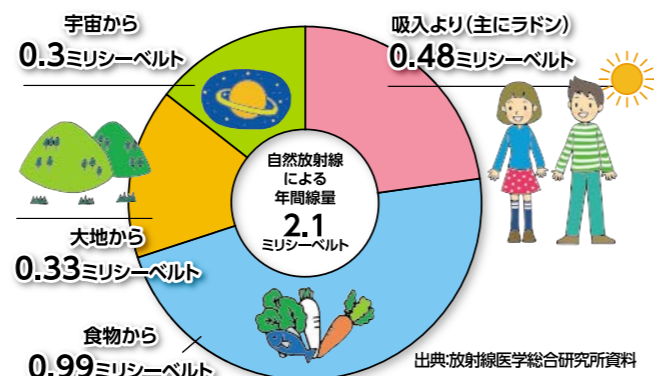


## 7 日常生活における放射線

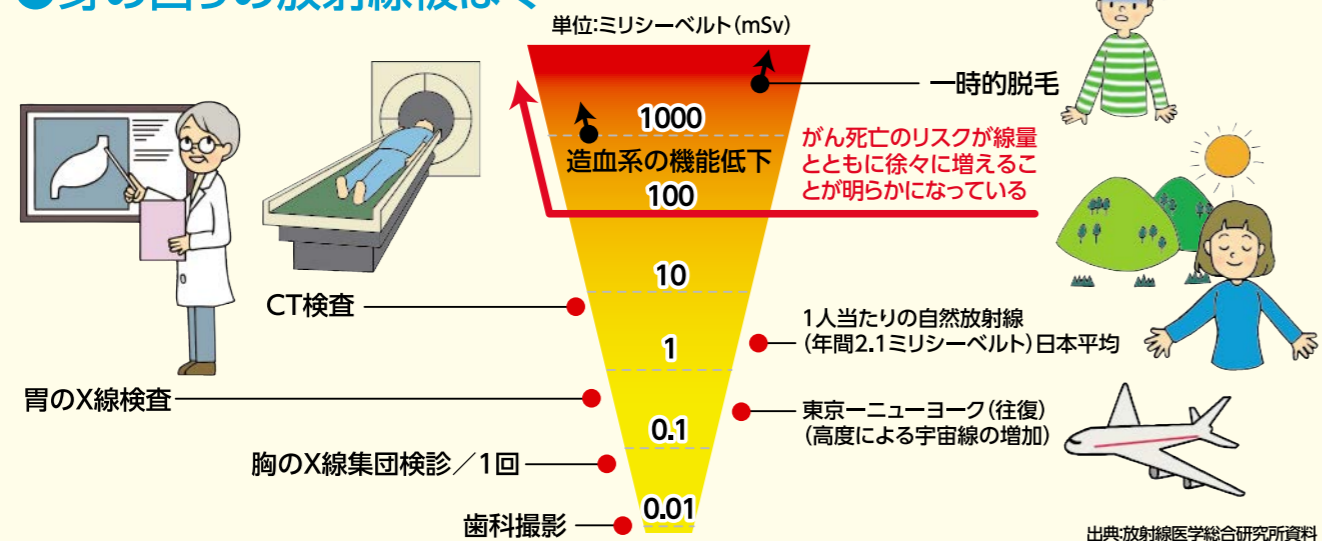
私たちは、日常生活の中で自然界からの放射線を受けて生活しています。例えば、大地からはウランやラジウムなどが放射線を放出しており、空からは宇宙線が降り注いでいます。また、空気中や食物中にも放射線は含まれており、これらを「**自然放射線**」と呼んでいます。

自然放射線とは別に、病気の診断や治療等の医療（X線検診など）でも放射線を受けており、これらを「**人工放射線**」と呼んでいます。

### ●自然放射線の年間線量（一人あたり）



### ●身の回りの放射線被ばく



## 8 原子力防災に関する情報は…

鳥取県の原子力防災のホームページでは、原子力防災に関する情報や緊急情報を提供しています。

### ●鳥取県の原子力防災の取り組み

- 鳥取県原子力安全顧問の設置
- 原子力防災講演会
- 原子力防災現地研修会(見学会)
- 鳥取県地域防災計画(原子力災害対策編)
- 鳥取県広域住民避難計画
- 原子力防災訓練

### ●空間放射線の測定(モニタリング)結果

### ●島根原子力発電所に関する情報

### ●人形峠環境技術センターに関する情報

トラブル発生等の緊急時には、原子力施設の状況や本県の対応状況、県民へのメッセージ等の緊急情報を掲載しますので正しい情報を基に行動をお願いします。

発行/編集

鳥取県 危機管理局 原子力安全対策課

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1丁目271 TEL:0857-26-7974 FAX:0857-26-8805  
e-mail genshiryoku-anken@pref.tottori.jp  
HPアドレス <http://www.genshiryoku.pref.tottori.jp/>

発行:平成27年3月



鳥取県の原子力防災のホームページはこちらから

# 日頃から 備えましょう!! 原子力 防災



もしも、島根原子力発電所で事故が発生した場合、自分の身を守るためにはどのような行動をとればよいでしょうか?

万が一に備えて、基本的な原子力防災の知識を学び、日頃から備えておきましょう。

## 1 原子力災害の特徴とは?

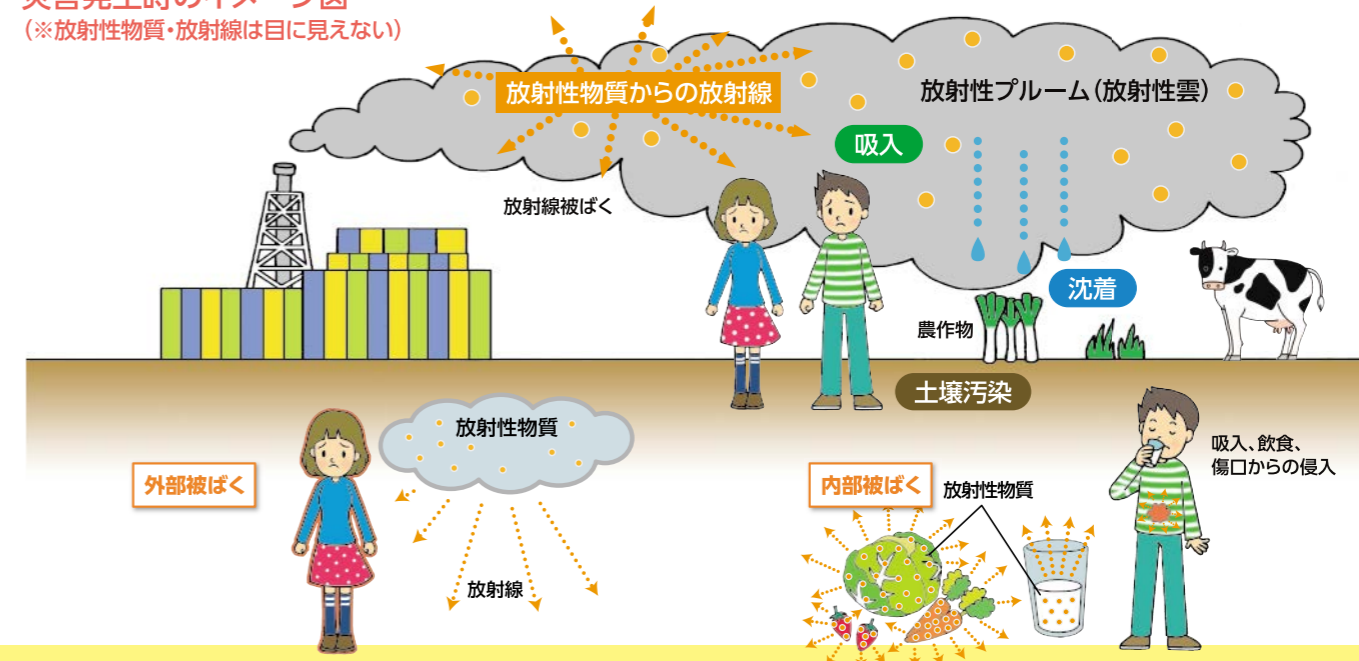
原子力災害は、一般の災害と比較し、主に次のような特徴があります。

- 放射性物質または放射線の存在は、放射線測定器を用いることにより検知することができますが、**目に見えないなど五感で感じることができないため、被ばくの程度を自ら判断できません。**
- 原子力に関する専門的知識が必要**なため、専門的機関の役割や指示、助言等が重要となります。
- テレビやラジオなどからの県や市の情報に基づいて、**屋内退避**や**避難**などが必要となります。

## 2 原子力災害が発生するとどうなるの?

原子力発電所で事故が起きた場合、周囲に放射性物質が放出される恐れがあります。

災害発生時のイメージ図  
(※放射性物質・放射線は目に見えない)



### 「被ばく」と「汚染」の違い

- 「被ばく」…放射線を受けることをいいます。
- 「汚染」…放射性物質が皮膚や衣類に付着した状態であり、洗ったり拭き取ったりして、放射性物質を落とす作業(除染)を行います。

### 外部被ばくと内部被ばく

- 外部被ばくだけでなく、内部被ばくにも注意が必要です。
- 「外部被ばく」…体の外部から放射線を受けることをいいます。
  - 「内部被ばく」…人が呼吸や食べ物、傷口から体内に入り込んだ放射性物質から、体内の組織や臓器が放射線を受けることをいいます。